

会長就任あいさつ

上松陽助



今春岐阜県博物館協会会長就任のご推薦があり、不肖をかえりみずお引きうけしました。

目下岐阜県知事平野三郎氏は置県百年記念事業として総合

博物館建設の企画を着々実行中と聞いています。総合博物館の構想は、各般にわたる知識を吸収する殿堂であり、特に郷土の特色を生かし、人類の未来を先きどりする考慮が払われるものと期待しています。

現下岐阜県博物館の現状をみまするに、その数は60以上を数え、それぞれ個性があり、郷

土の特色をもった貴重な資料館ばかりではありますが、現状をきたんなくいえば、少数の館を除いては何れも経営難のため、その機能の発揮が充分でないうらみがあります。本会も設立以来関係各位が事業発展のため鋭意努力されてきましたが、「日暮れて道遠き」感があるやに聞いています。やがて県立博物館開設のあかつきには同館指導の下に各郷土館の体質改善を図ると共に、県内文化の向上に一層の発展を期待するものであります。

かかる重大な時期に会長の重責がつとまるかどうか、自らをあやぶむものでありますが、会員各位のご支援を得まして責任が遂行できれば幸せと思います。抱負の一端を述べて挨拶いたします。

博物館活動の拡充私案

郷 浩

県下博物館の活動状況は未だ十分に活躍していない(例外はある)。元来博物館活動は文化を通じて社会に貢献するものであって、利潤追求は第二義的なものであるから、財政的に弱体をまめがれない。

しかし最近では博物館の数も増加して60カ所を越えようとしている。折角の施設をこのまゝ放任することは勿体ない。各館の活動を促進するため、博物館関係者は英知を傾けなければならぬ。

まず第一に組織を拡充するため、県内を5ブロック(岐阜、飛騨、郡上、東濃、西濃)に分け、地区内にある大小の博物館が加入し、定期的に会合して適切なる事業計画を立案し、実行に移すべきである。

たとえば地区内博物館の地図(案内図)を共同で作成し、場所、交通、入場料、展示内容などを記載したパンフレットを配布すること。道路の整備を図ること。定期遊覧のバスを乗り入れること。その他サービスの充実など、各

種共通事項について、改善充実を図る。

ブロック運営上、関係町村、優秀博物館は積極的に低開発博物館にも働きかけて指導していただきたい。会合には本部役職員も参加して大いに立派な発想を出し合いたい。目下飛騨地区はブロック設立の準備が進められているように聞いている。成功を祈る。

(岐阜県博物館協会理事長
岐阜城館長)



菊花石館

〒500

岐阜市長良福光中町
2616

石の哲人 白木孝一先生を訪ねて



正月早々、菊花石館の白木先生をお尋ねした。決して笑顔をお忘れにならない白木翁の姿からは、初めてお会いした私にまで、ほのぼのと心暖まる情感がひしひしと伝わってきて、親しくお話を伺うことができました。

“医者としては落第しましたわ”とニコニコ話される美しい健康そのものの白木翁、根尾谷の丸山(海拔1,020m)から産する菊花石につかれて35年……思い出を秘めた数々の展示菊花石……そのひとつひとつを説明して下さる姿には、限りの情熱があふれ出ており、ひとつのことに精魂を込めた、日本男子の真髓がありました。

堆積岩の中に、方解石が特殊な放射状結晶をあらわして、鮮やかな菊の紋様をつくりあげた自然美の極地——菊花石、その生成の起源を追求するうちに、自然の偉大さを悟り、人間生存の根本理法にまで思いをめぐらされた、石の哲人と申しても過言ではないでしょう。

“人間は自分でつくったものすら、よう始末せずにいるが”と公害問題を心配されるのも、石を愛し石と語る中で、自然界の調和ある姿を悟られたからにはほかならない。無料公開。石を見るだけでなく、人生哲学の学習の場でもありました。

(写真・文、小野木)

生涯教育と博物館 ——公教育機関として——

私が最近読んだ本の中で、たいへん教えられることの多かったものに、鼎談〜今西錦司、川喜田二郎、小松左京、「人類は滅びるか」がある。(講談社刊)

たしかに、人類の破滅が真剣に心配されるまでに科学技術は猛進し、いたるところで工業化都市化が進み、情報メディアの変化、人間の価値観の変化……社会的文化的構造の変化……と、何もかもが急激に変化しているのが今日である。

このような激変する社会にあって、教育は学校で……という時代は遠い昔に過ぎ去ったのである。人間は、学校時代に知識・技能を学習し、卒業したら、学校教育で得たものを土台にして、物の生産にたずさわって生活し生きていくという時代ではないのである。人類の持つ知識は刻々と増加し、学校教育では、それらを全て網羅することはできなくなった。科学技術革新・情報洪水と情報短命の今日、いかなる職業人といえども、新しい科学技術を駆使するためには、絶えず学習をし続けなくてはならなくなってきた。職業上の専門的学習ばかりでなく、社会進歩の方向に、ひとりひとりが積極的に適応していくためには、全生涯にわたって知的な自己学習の励み、人間的教養の向上につとめなくては、これからの社会に生きていかれない。だからして、最近「生涯教育」がやかましく言われるようになってきた。学校教育も、生涯教育の一過程として考えられ、学校教育は知的訓練、家庭教育は人間の道徳的しつけ、社会教育や成人教育は、成人への補充教育の場……といった考え方と教育体制は、もはや過去のものとなったのである。

こう考えてくると、生涯にわたる学習のための場を保障する教育機関として、博物館が重要視されてくる。ところが、図書館、視聴覚ライブラリーなどの諸公共施設と比べて、わが国の博物館は何と貧弱なことだろう。立ち遅れている図書館ですら、ほとんど全県に県立、全国64%の市には市立が、内容・施設はどうか、町村立のものもあるといった現状を思うと、博物館を生涯教育の重要な公教育機関と考え、国地方自治体が多大の資本投資をおしまず、強ちに建設し、国民、市民ひとりひとりのために運営されることが、私立博物館の歴史も薄いわが国の今後の博物館の方向ではないだろうか。博物館は、人間一生涯にわたる知的な自己学習の場である。(小野木三郎)

昭和46年度

岐阜県博物館協会役員・委員一覧

会長	上松陽助	東濃地区	古川庄作
副会長	名和正男	飛騨地区	長倉三郎
"	平田吉郎	"	川口克彦
理事長	郷 浩	全県地区	伊藤健吉
理事	"	"	県立博物館
岐阜地区	白木孝一		関係責任者
"	田中敏夫		(未定)
西濃地区	日比 武	事務局長	古田幸平
中濃地区	武藤隆一		

伝 太 郎 源 橋 棚 (6)

倅 崎 宮

小 学 校 時 代

明治9年6才の時に北方小学校の中等8級へ入学した。当時の小学校は4年制で、その上に中等2年、高等2年計8年であったが、まだ義務制ではなかった。

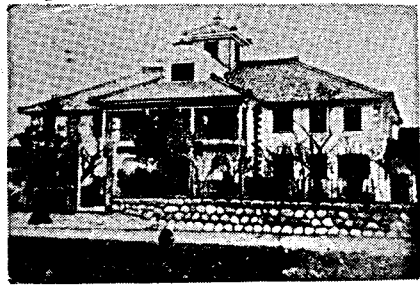
この年、北方村では総額1,700円を投じてオランダ風の2階建て(一部4階建て)木骨土蔵造りの小学校を新築した。机・腰掛け式の勉強であった。校舎4階に立っている旗ざおに、授業のある日は国旗がひるがえっていた。この旗をみては、授業のあることを確認しあいながら、源太郎たちは学校へかよった。

中等8級7級の頃は、単語図などという絵のかかれた掛図を使って、馬・猫・金魚・鶴などという漢字などを習った。先生は鞭(むち)を持っていて、いえない者をこらしめた。そのため、学校へ行くのをこわがった子供も多かった。授業がすむと、玄関の広間に並んで、生徒の心得を読み、それからみんなで家に帰った。

もう1・2年進級すると教科書が使われるようになった。アメリカのウイルソンのリーダーを訳した漢字・平仮名・片仮名・変体仮名のまじった文語体で、小学読本巻1第1回には「凡世界に住居る人に、五種あり、○亜細亜人種 ○欧羅巴人種、○メレイ人種、○亜米利加人種 ○亜仏利加人種なり、○日本人を亜細亜人種の中ふり」とある。今ならば中学生でもむずかしいようなものであった。

文部省は明治9年に今までの教科担任制をやめて、学級担任制とした。

明治10年、西南戦争の年のこと。各級から



当時の北方小学校(明治6年~22年)

4・5名の代表者を集め、校長さんが議長になって、学校の規則についてきめる会がもたれた。勿論源太郎も代表に選ばれていた。まだ低学年であった源太郎は上級生達が次々と発言するので、何かいわないではおられなくなって、「議長、何番」と発言を求めた。ところが、いざ起立してみると、いことがない。とさきに、「小水をこり」(便所へ行きたい)といっ、その場をつくろったというエピソードがある。

小学校も後半にはいると、今までの鞭による注入式の教え方から、開発教授へと変っていった。最初のアメリカ留学生、伊沢修二や高嶺秀夫が欧米の教育思想を学んで帰って普及した。教育は児童心理学を基礎にし、児童の持っている能力を引き出さねばならないというわけで、問答方式などを採用するようになった。

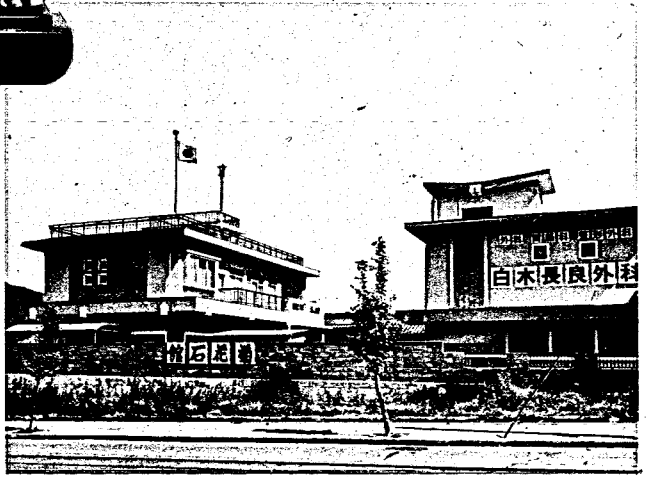
源太郎の祖父助右衛門は酒造家用大桶の工作もした。農菜の暇な時は近郷の小野村や岐阜の醸造家に泊りこみで働きにいったこともある。そのため、工作道具がいろいろ残っていた。この道具を持ち出して竹やぶへは入り、竹を切って父にしかられたり、庭のモチの木皮をめぐってしまったりして、ひどくしかられたのも小学校の頃であった。(都合により本誌への掲載はこれで中止する。)

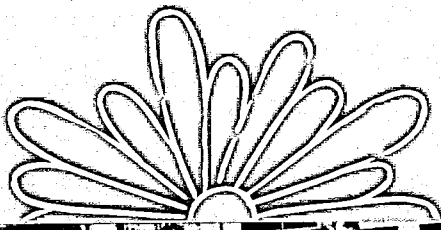
菜

花



石



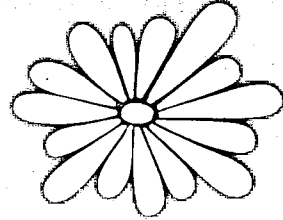


菊花石庭

白砂と石の庭は枯山水と呼ばれ古
来からありますが石の数を五七五
とし俳句的な構成に依ったところ
と名石菊花石を用いたところこ
この庭の特色があります。

庭全体は蓬萊を意味した左側
石を用いて鶴を右側は亀を象徴
石組みの形式は左側の五石が心字
組、手前の五石が雁組、右側が親
を囲む子をかたどった親子組とな
っています。

宝月流家元 安井承世





菊花石

菊花石は岐阜県本巣郡根尾村松田初鹿谷の奥に産出、偶然私が買った山から産出するのでこれは珍しい、目出度いとて人に与えんとしてもだれ一人も貰ってもくれなかったが今では大変珍重がられて石の趣味は全国的となり世界にまで広まって来ました石を趣味に持つことは総ての趣味の最高峰だと徳富蘇峰翁も申された川合玉堂画伯もこの山え二度も案内した程の熱の上げ方であった。昭和16年12月天然記念物、昭和30年特別天然記念物と指定された。幾度も献上の光栄に浴して雲の上には賑やかに光り輝いて居ります。

徳富蘇峰翁

乾坤孕秀気 靈石出雲剛 郁々 天家号
菊花呈瑞祥

川合玉堂画伯

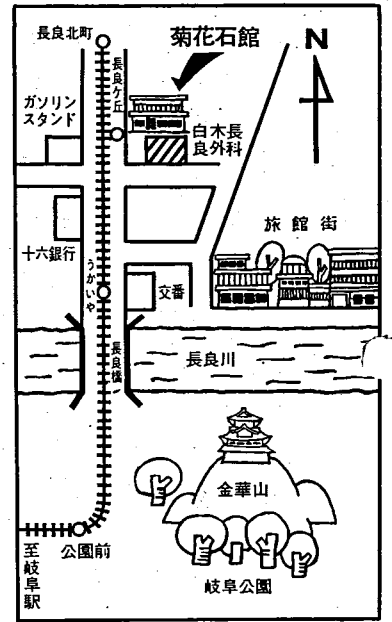
美濃の国根尾の谷間の石に見る 神わ
ざかしこ七宝の菊、八重一重石に咲き
たる神菊の九重に咲く秋は来にけり

加藤咄堂先生

君が代を千代見草とや菊の石

白木九華作

この山の石を拾いて世の人に洗って見
せむ菊の花石、
いふよりもいはぬが花よきくの石
よきことはきかせてくれよきくの石



菊花石館長 白木孝一
白木長良外科 白木孝男
岐阜市長良中町 (長良橋北結50米)
TEL.(65) 3032

岐阜県の博物館施設一覧表

昭和46年2月現在
岐阜県博物館協会

番号	名 称	所 在 地	電 話
A	(歴 史)		
A 1	神岡町郷土館 〔神岡城・鉾山資料館〕	吉城郡神岡町城ヶ丘1(〒506-11)	◁0578▷ 2-0253
A 2	高山市郷土館 ※※	高山市上一之町75(〒506)	◁0577▷ 32-1203
A 3	福来(ふくらい)博士記念館	高山市城山公園内(〒506)	◁0577▷ 32-2052
A 4	赤保木の堅穴住居跡と展示室	高山市赤保木町(〒506)	◁0577▷ 32-9911 呼
A 5	金山町郷土館	益田郡金山町金山(〒509-16)	◁05763▷ 2-2201 呼
A 6	中津川記念郷土館	中津川市本町2丁目(〒508)	◁0573▷ 6-1308
A 7	八幡城	郡上郡八幡町柳町一の平(〒501-42)	◁0575▷ 5-2121 呼
A 8	蘇原公民館郷土室	各務原市蘇原町支所内(〒504)	◁0583▷ 82-4339
A 9	航空自衛隊岐阜基地広報館	各務原市那加町(〒504)	◁0583▷ 82-1101
A10	岐阜城	岐阜市金華山頂(〒500)	◁0582▷ 63-4853
A11	濃飛甲冑研究所展示室	岐阜市岩戸花月町2の1(〒500)	◁0582▷ 45-3947
A12	岐阜大学郷土博物館 ※※	岐阜市長良城之内・岐阜大学教育学部内(〒500)	◁0582▷ 31-4161
A13	森田草平記念館	岐阜市鷺山・草平町(〒500)	◁0582▷ 32-2147
A14	陸上自衛隊岐阜駐とん地史料館	岐阜市加納丸の内11(〒500)	◁0582▷ 71-4155
A15	谷合公民館郷土室	山県郡美山町谷合(〒501-23)	◁05810▷ 2050 呼
A16	小川栄一コレクション展示室	揖斐郡大野町大衣斐(〒501-05)	
A17	梁川星巖記念館	大垣市曾根町772・華溪寺内(〒503)	◁0584▷ 81-7535
A18	大垣城	大垣市廓町2丁目(〒503)	◁0584▷ 78-5836
A19	美濃国分寺考古館	大垣市赤坂町青野(〒503)	◁0584▷ 71-0297
A20	養老公園孝子館	養老郡養老町・養老公園内(〒503-13)	◁05843▷ 2-0501 呼
A21	関ヶ原町立郷土館	不破郡関ヶ原町関ヶ原 3132(〒503-15)	◁058404▷ 呼37
A22	関ヶ原ウオーランド	不破郡関ヶ原町関ヶ原 2087(〒503-15)	◁058404▷ 呼302
A23	関ヶ原縄文遺跡と考古館	不破郡関ヶ原町小関(〒503-15)	◁058404▷ 呼312

番号	名 称	所 在 地	電 話
B	(民 俗)		
B1	上宝村民俗館	吉城郡上宝村平湯(〒506-13)	<0578> 呼111
B2	平湯民俗館	吉城郡上宝村平湯(〒506-13)	<0578> 呼 66
B3	飛驒集古館	大野郡丹生川村坊方(〒506-21)	<057706> 呼131
B4	高山屋台(やたい)会館	高山市桜町158八幡神社内(〒506)	<0577>32-5100
B5	飛驒民俗館 ※※	高山市岡本町1411(〒506)	<0577>32-2817
B6	下呂温泉合掌村	益田郡下呂町森字柿ヶ平(〒509-22)	<05762>5-2239
B7	飛山民俗館	益田郡金山町本町(〒509-16)	<05763>2-2080
B8	白川郷民俗館	大野郡白川村御母衣(〒501-55)	<御母衣局> 62
B9	下野郷土館	恵那郡福岡村下野下野小学校内(〒508-02)	<0573604>呼 54
B10	串原村郷土館	恵那郡串原村大野(〒509-78)	<057352>呼 1
B11	明方村博物館	郡上郡明方村三間手・奥明方中学校内(〒501-43)	<0575605>呼 13
B12	那比新宮宝物庫	郡上郡八幡町那比(〒501-42)	<05756>6-9274呼
B13	奥美濃郷土館	郡上郡八幡町一の平485(〒501-42)	<05756>5-3916
B14	郡上染織資料館	郡上郡八幡町初音(〒501-42)	<05756>5-3815
B15	奥美濃おもたか家民芸館	郡上郡八幡町新町930(〒501-42)	<05756>5-3332
B16	鶴飼民俗資料展示室	岐阜市港町鶴飼観覧船事務所内(〒500)	<0582>62-0104
B17	洞戸村民俗資料館	武儀郡洞戸村通元寺・洞戸小学校内(〒501-28)	<058166>呼 24
C	(美 術)		
C1	寺宝館	吉城郡神岡町本町・洞雲寺(〒506-11)	<0578>2-1210
C2	日下部(くさかべ)民芸館	高山市大新町1(〒506)	<0578>32-0072
C3	平田記念館	高山市上二之町(〒506)	<0577>33-1354
C4	八賀民俗美術館	高山市下三之町(〒506)	<0577>32-1238
C5	青邨(せいそん)記念館	中津川市苗木287012(〒508-01)	<05736>5-4131呼
C6	祐教コレクション 付知峡博物館	恵那郡付知町下浦(〒508-03)	<0573603>呼 284
C7	若宮修古館	郡上郡白鳥町長滝138(〒501-51)	<057598>呼 23
C8	多治見古陶器陳列室	多治見市新町1丁目・市民センター内(〒507)	<0572>22-0165
C9	元屋敷陶器窯跡出土品収蔵庫	土岐市泉町久尻下窯(〒509-51)	
C10	菊花石館	岐阜市長良福光中町2616(〒500)	<0582>32-3032
C11	日本愛石館	揖斐郡揖斐川町昭和町(〒501-06)	<05852>2-0377

番号	名 称	所 在 地	電 話
D	(自然科学)		
D 1	長島氏鉱物コレクション展示室	中津川市苗木公民館内(〒508-01)	<05736> 6-1328
D 2	蛭川郷土館・長島コレクション 陳列所	恵那郡蛭川村奥渡(〒509-83)	<05732> 5-3245
D 3	後藤植物研究所標本室	関市白金60の2(〒501-32)	<05752> 2-0586
D 4	名和昆虫博物館	岐阜市大宮町2丁目・岐阜公園内(〒500)	<0582> 63-0038
D 5	岐阜市児童科学館 ※	岐阜市小椎谷・岐阜公園内(〒500)	<0582> 63-0290
D 6	岐阜プラネタリウム	岐阜市笹谷4695(〒500)	<0582> 65-0231
D 7	岐阜天文台	羽島郡柳津町高桑・藤ノ木(〒501-61)	<0582> 79-1353
D 8	浅見化石コレクション化石会館	岐阜市長良・高見2(〒500)	<0582> 31-3997
D 9	自然保護資料館	岐阜市茜町・更屋敷(〒500)	<0582> 72-2702
D 10	教育資料館	関市下有知(〒501-32)	<05752> 2-4490
D 11	大垣市児童文化センター	大垣市東外側町2の35(〒503)	<0584> 78-2564
D 12	金生山化石館	大垣市赤坂町金生山・赤坂産業館内(〒503)	<0584> 71-0294
E	(動植物園・水族館)		
E 1	お世温泉自然苑の野鳥園	瑞浪市明世町月吉(〒509-61)	<0572> 68-4036
E 2	岐阜大学農学部付属植物園	各務原市那加町雲雀町(〒504)	<0583> 82-1201
E 3	岐阜公園鳥類センター	岐阜市大宮町・岐阜公園内(〒500)	<0582> 62-3951
E 4	岐阜公園水族館	岐阜市大宮町・岐阜公園内(〒500)	<0582> 62-3951
E 5	金華山リス村	岐阜市金華山頂(〒500)	<0582> 62-4928呼
E 6	岐阜薬科大学付属薬草園	岐阜市三田洞・岐阜薬科大学内(〒501-21)	<0582> 37-3931
E 7	谷汲植物園	揖斐郡谷汲村徳積谷汲駅内(〒501-13)	<058562> 呼 30
E 8	竹類見本園	養老郡養老町・養老公園内(〒503-13)	<05843> 2-0501
F	(岩石園・鍾乳洞)		
F 1	飛驒大鍾乳洞	大野郡丹生川村日面(〒506-22)	<057707> 呼 6
F 2	郡上八幡大鍾乳洞	郡上郡八幡町美山(〒501-44)	<0575603> 呼 17
F 3	大滝鍾乳洞	郡上郡八幡町安久田・大棟(〒501-42)	<05756> 5-3950
F 4	関ヶ原洞	不破郡関ヶ原町玉(〒503-15)	<058404> 呼 92

※印は博物館法にもとづいて登録された「博物館」。※※印は同法による「博物館相当施設」。

このほかに、このような施設がございましたら岐阜県博物館協会までお知らせください。

岐 阜 県 博 物 館 協 会 規 約

名 称

第1条 本会は「岐阜県博物館協会」と称する。

第2条 本会は岐阜県内の博物館および類似施設をもって会員とする。

目 的

第3条 本会は会員相互の連絡提携のもとに、施設活動の拡充発展をはかり、もって社会教育の健全育成に寄与することを目的とする。

事 業

第4条 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行う。
(1)総会の開催 (2)会員相互の情報交換
(3)職員の研修 (4)巡回展示物のあっせん (5)その他必要な事業

役 員

第5条 本会に次の役員をおく。
会長1名 副会長2名 常任幹事若干名 幹事若干名

役員を選任

第6条 (1)会長は本会の事務を掌理し、この会を代表する。副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はその職務を代行する。
(2)会長、副会長、常任幹事および幹事は、役員会を組織し主要な事項を審議する。
(3)常任幹事は、会長の命に従って会務を執行する。

役員任期

第7条 会長、副会長、常任幹事および幹事の任期は2年とする。

会 議

第8条 本会は年1回定期総会を開催する。

必要に応じて臨時総会を開催することができる。総会は会長が招集する。総会の議長は会長、会長事故ある時は副会長が当る。

協議事項

第9条 総会は次の協議事項を審議する。
規約の変更、定期総会開催の決定、役員を選任、運営上の重要事項、その他特に必要と認める事項。

役員会

第10条 役員会は次の事項を審議する。
(1)規約の変更案 (2)総会に付議すべき事項 (3)常任幹事の互選 (4)事務所の決定 (5) その他必要な事項

経 費

第11条 本会の経費は次の通りとする。
会費 寄付金 補助金 その他
会費の額等に関しては総会において定める。

事 務 所

第12条 本会の事務所は常任幹事の施設におく。

付 則

この規約は昭和41年6月25日から施行する。

館園ニュース募集：特別展、年間計画、展示や料金、人事その他の変更など、お知らせください。この機関紙を通じて全国へ知らせます。

編集部